

CONTENTS

第19回 アジア中古車流通研究会..... 2  
 中国経済シンポジウム 2016 のお知らせ ..... 3  
 上海の男性は女性の外見を、女性は性格を重視 EQの低さは致命傷に 福喜多俊夫..... 4  
 【中国経済最新統計】 ..... 6



## 第19回 アジア中古車流通研究会

---

主催：京都大学東アジア経済研究センター

後援：京都大学東アジア経済研究センター支援会

2016年11月26日(土) 13時～17時

於京都大学東京オフィス（新丸の内ビルディング10階）

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.html>

### 報告

□山川 博功（ビィ・フォアード代表取締役）

「実業者が語る 日本の中古自動車のアフリカ輸出」

□泉水 俊明（日本自動車販売協会連合会業務部部長）

「スリランカ・シンガポールにおける日本車の中古輸入」

□藤井 真治（AP[エイ・ピー]スターコンサルティング）

「インドネシアの自動車バリューチェーンビジネス—ファイナンス，中古車，レンタ，配車アプリ—」

研究会終了後 懇親会を行います。

なおこの研究会は京都大学東アジア経済研究センター支援会の会員のみが参加できるクローズドな研究会です。非会員で参加希望の方は塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp まで、支援会入会手続をお問い合わせください。

## 中国経済シンポジウム 2016 のお知らせ

---

# 中国経済の安定成長に向けて

**主催：京都大学東アジア経済研究センター**  
**共催：人文科学研究科附属現代中国研究センター**  
**後援：京都大学東アジア経済研究センター支援会**

時 間： 2016年12月3日(土) 14:00～18:00  
場 所： 京都大学吉田校舎時計台記念館2階、国際交流ホール  
使用言語： 日本語、中国語（日本語通訳あり）  
参加費： 無料

### 14:00-14:10 挨拶

文 世一（京都大学経済学研究科科長・教授）

### 14:10-14:30 問題提起：

劉 徳強（京都大学地球環境学学/経済学研究科教授）「中国経済の動向と課題」

### 14:30-15:50 講演 I

秦 雪征（北京大学経済学院副教授・院長補佐）「中国経済の新常態と成長方式の転換」

15:50-16:05 ————— コーヒーブレイク —————

### 16:05-17:00 講演 II

章 政（北京大学経済学院教授・生涯教育学院院長）「中国の農村発展と土地問題」

### 17:00-17:50 質疑応答

章 政（北京大学経済学院教授・生涯教育学院院長）  
秦 雪征（北京大学経済学院副教授・院長補佐）

### 17:50-18:00 閉会挨拶

宇仁宏幸（京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター長・教授）

### 18:10-19:40 懇親会

会 場： 京都大学吉田校舎時計台記念館国際交流ホール

参加費： ¥2000円(東アジア経済研究センター支援会会員は無料、学生は1000円)

※シンポジウムの参加費は無料である。準備の都合上、参加ご希望の方は11月22日(火)までに氏名・所属・メールアドレス、及び懇親会参加の有無を東アジア経済研究センター事務局(ceaes2010@yahoo.co.jp)にまでお知らせください。

---

## 上海の男性は女性の外見を、女性は性格を重視 E Qの低さは致命傷に

---

一般社団法人大阪能率協会常任理事、順利包装集団董事（在上海）  
福喜多技術士事務所所長、東アジアセンター外部研究員  
福喜多俊夫

なかなかいい人が見付からず、結婚できないとずっと悩んでおり、親戚や友人からやいのやいのと急かされるという若者は多い。では、「売れ残ってしまう」人は何が原因なのだろうか？ 最近発表された「上海の独身の若者の恋愛調査」は、都市で暮らす独身男女の恋愛・結婚観、結婚相手に求める条件、結婚相手を探す際に直面している問題などを明らかにしている。東方網が報じた。

### 1. 男性は若くてきれいな女性を、女性は金持ちの男性好む

結婚相手に求める条件に関する調査では、「男は才能、女性は美貌」という伝統的な考えの影響を、今の若い人も依然として受けていることが分かった。男性が恋愛するに先立ってまず考える主なポイントは、多い順から相手の外見、性格、生活習慣、年齢、家庭背景となっており、一方の女性は、性格、外見、経済状況、能力・ポテンシャル、生活習慣だった。

男性のほうが相手の家庭背景や年齢を気にするのに対し、女性は相手の経済状況や能力・ポテンシャルを気にしており、それぞれが相手に求める点が異なることが分かる。

### 2. 恋愛経験が少ないのは理工系男女

職業も、恋人ができるかに関わる重要な要素で、仕事の業種が恋愛経験の豊富さに影響する。報告によると、ツールエンジニアリング系の職業（理工系男女）は、人間関係の輪が狭いため、恋愛経験が少ない。

このような調査結果について、上海に住む私のまわりの人たちはどのような反応を示すのだろうか？ 友人の子供達、仕事で知り合った若者に聞いてみた。

(1) 24歳の女性、大学院生（文科系） 両親はそれぞれ別個に事業を行っている。

個人的に言えば調査結果は当たっていると思うが、私の場合は親が相手の生活レベルを気にすると思う。我が家は富裕層とは思わないが、両親が納得する相手を見つけるのはなかなか難しい。

(2) 30歳女性、既婚 家庭は普通のサラリーマン

結婚相手は復旦大学（文科系）の同級生です。学生時代から気が合って結婚

を前提に付き合っていました。一番大事なのは教養レベルが同等なこと、堅実な相手であることです。主人は民間会社の貿易部門、私は上海税関で働いています。

(3) 28歳女性 既婚 両親とも公務員（父親はすでに退職、母親は看護師）

近所に住む中学校の同級生と結婚しました。中学卒業後、高校、大学は別で付き合いはありませんでしたが、たまたま再会して意識しあうようになり、両方の親も賛成したので結婚しました。男性に求めるのは第一に経済力です。

(4) 28歳男性 独身 民間会社勤務 大学本科（文科系）卒業

相手が美人であるにこしたことはないけれど、それほど気にしません。大事なことは周囲と調和させる能力と教養をもっていることです。今、付き合っている人はいません。結婚は35歳くらいまでにすればいいと思っています。それまでにお金を貯めておきます。

(5) 30歳女性 既婚 両親はすでに年金生活

大学（南京信息大学）の同級生と結婚しました。学生時代から結婚を約束していました。我が家も相手の家も普通の暮らしで金持ちではないので、卒業して勤めはじめたときに2人でローンを組んで私の実家に近いところでアパートを買いました。相手に求めるのは堅実さです。

(6) 22歳女性 独身 大学専門部（短大）卒

相手に求めることは、私より背が高いこと、まともな会社あるいは役所に勤めていること（すなわち経済力があること）。双方の家庭の生活レベルが同じであること。将来、両方の親の面倒を見ていく覚悟があること。

(7) 26歳男性 独身 大学本科卒（文科系） 民間会社勤務

僕の場合、両親との同居が条件なので、相手を見つけるのが結構難しいと思う。

会社の上司は両親と同居を前提にして結婚したが、奥さんの両親や親戚がアパートを買って別々に生活しろと干渉し、結局離婚してしまった。

最近は二所帯住宅式に隣り合わせのアパートを二戸買って、問題を解決しようと思っています。相手に求める第一は性格（のんびりしている人がいい）です。

わたしのまわりにいる上海の若い男女は結構、堅実な考え方をしているようだ。また、結婚にあたっては両家の経済的、教育的釣り合いをかなり気にしているように思われる。

以上

## 【中国経済最新統計】

	① 実質 GDP 増加率 (%)	② 工業付 加価値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億 <sup>F</sup> )	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013年	7.7	9.7	11.4	2.6	19.4	2590	7.8	7.2	▲8.6	5.3	13.6	14.1
2014年	7.4	8.3	12.0	2.0	15.2	3824	6.1	0.4	4.41	14.2	12.2	13.6
9月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015年	6.9	5.9	10.7	1.4	9.7	6024	-9.8	-14.4	11.0	0.8	11.9	15.0
1月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7
3月	7.0	5.6	10.2	1.4	13.1	31	-15.0	-12.9	0.3	1.3	9.9	14.7
4月		5.9	10.0	1.5	9.6	341	-6.5	-16.4	2.9	10.2	9.6	14.4
5月		6.1	10.1	1.2	9.9	595	-2.4	-17.7	-14.0	8.1	10.6	14.3
6月	7.0	6.8	10.6	1.4	11.6	465	2.8	-6.3	4.6	1.1	10.2	14.4
7月		6.0	10.5	1.6	9.9	430	-8.4	-8.2	9.6	5.2	13.3	15.7
8月		6.1	10.8	2.0	9.1	602	-5.6	-13.9	23.9	20.9	13.3	15.7
9月	6.9	5.7	10.9	1.6	6.8	603	-3.8	-20.5	5.2	6.1	13.1	15.8
10月		5.6	11.0	1.3	9.3	616	-7.0	-19.0	2.5	2.9	13.5	15.6
11月		6.2	11.2	1.5	10.8	541	-7.2	-9.2	27.7	0.0	13.7	15.3
12月	6.8	5.9	11.1	1.6	6.8	594	-1.7	-7.6	17.2	-45.1	13.3	15.0
2016年												
1月			10.3	1.8	18.0	633	-11.5	-18.8	14.1	-2.1	14.0	15.2
2月			10.2	2.3		326	-25.4	-13.8	-11.3	-1.3	13.3	14.7
3月	6.7	6.8	10.5	2.3	11.2	299	11.2	-7.4	26.1	4.0	13.4	14.7
4月		6.0	10.1	2.3	10.1	456	-2.0	-10.5	21.4	2.9	12.8	14.4
5月		6.0	10.0	2.0	7.4	500	-4.7	-0.1	43.6	-4.8	11.8	14.4
6月	6.7	6.2	10.6	1.9	7.3	479	-6.1	-9.0	8.5	4.4	11.8	14.3
7月		6.0	10.2	1.8	3.9	502	-6.4	-12.9	-3.8	-6.2	10.2	12.9
8月		6.3	10.6	1.3	8.2	520	-3.2	1.4	13.2	0.5	11.4	13.0
9月	6.7	6.1	10.7	1.9	9.0	420	-10.2	-1.9	27.9	-3.6	11.5	13.0

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、( )内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。